

一般社団法人カーボンリサイクルファンド（CRF）は6月4日、埼玉県東松山市毛塚地区において、農業組合法人赤樹林産事業所（金子禎作代表）を中心とした地元の方々、CRF会員及びそのご家族と植林イベント「カボリサの森」を実施しました。各地に被害をもたらした台風2号が丁度過ぎ去ったタイミングでした。

植樹したのは、CRFの会員が開発した5年ほどで成木する「早生桐」200本。木材利用がカーボンニュートラルに寄与することが注目されており、森林だけでなく、今後、耕作放棄地などへこのような活動が広がることが期待されます。

気候変動は既に起こりつつあります。ここは2019年の台風19号による越辺川（おっぺがわ）の決壊により浸水被害のあった地域であり、防災の観点からも植樹の効果が見込まれています。



上左：今回植樹した苗
上右：植樹後5年の様子（福島県郡山市）

カボリサの森はGoogleMapで検索できます

<https://goo.gl/maps/4LjryK8NBu6AS2mF8>

全景を空撮した動画をYouTubeで公開しています

<https://youtu.be/z0k0z58fZ24>

問合せ先：カーボンリサイクルファンド
info@carbon-recycling.fund.jp

